

第80回 日本癌学会学術総会

The 80th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association



80年を超え、 がん撲滅の願いを未来へ

演題募集要項



"Standing on
the shoulders of Giants"
Isaac Newton

日時

2021年

9/30 [木] ~ 10/2 [土]

会場

パシフィコ横浜

学会会長

佐谷 秀行

慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門 教授

指定セッション・公募枠登録締切

4月8日(木)正午

一般演題(口演・ポスター)登録締切

4月22日(木)正午

事前参加登録締切

7月30日(金)正午

<https://www.congre.co.jp/jca2021/>



第80回日本癌学会学術総会

会期と会場

会期：2021年9月30日（木）～10月2日（土）
会場：パシフィコ横浜 会議センター・展示ホールAB（学術総会）
パシフィコ横浜ノース G401+G402（市民公開講座）
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

学術総会に関する情報

ホームページ：<http://www.congre.co.jp/jca2021/>
学術総会に関するすべての情報は上記ホームページに掲載されます。



プログラム

- JCA-AACR Joint Symposia（英語・指定）
- Core Symposia（英語・指定および公募）
- 特別講演（英語）
- 特別シンポジウム（日本語および英語・指定および公募）
- 特別企画（日本語・指定）
- International Sessions（英語・指定および公募）
- Symposia（英語・指定および公募）
- 臓器別シンポジウム（日本語・指定および公募）
- モーニングレクチャー（日本語または英語・指定）
- 教育セッション・がん研究入門コース（日本語・指定）
- 一般演題（日本語または英語・口演・ポスター）
- ランチョンセミナー
- 総会・授賞式・受賞記念講演（日本語）

応募演題のオンライン登録

演題登録は学術総会ホームページからオンラインで登録していただきます。
抄録は英文で執筆してください。

演題登録締切

Core Symposia、特別シンポジウム、International Sessions、Symposia、臓器別シンポジウム公募	2021年4月8日（木）正午 ※Core Symposia、特別シンポジウム、International Sessions、Symposia、臓器別シンポジウムの公募枠に応募する場合の締切です。 4月8日（木）正午以降の応募は、自動的に「一般演題」への応募として対応いたします。
一般演題（口演・ポスター）	2021年4月22日（木）正午

事前参加登録

事前参加登録締切 **2021年7月30日（金）正午**
事前参加登録の締切日は発表の有無に関わらず同じです。
【事前参加登録方法】学術総会ホームページよりオンラインのみにて事前参加登録を受け付けております。参加登録料（16頁）を確認の上、クレジットカード決済にてお支払いください（銀行振込は受け付けておりません）。

日本癌学会入会手続き

発表者は共同演者も含めて日本癌学会会員に限られます。非会員の方は、入会手続きをしてください（17頁）。ただし学部学生の発表はこの限りではありません（13頁）。

宿泊・交通のご案内

ホテル宿泊手配希望の方は、演題募集要項に挟み込まれている宿泊申込書（19頁）にてお申込みいただくか学術総会ホームページ「宿泊案内」よりお申込みください。

関連学会・団体の単位・ポイントについて（予定）

セッション	団体名	単位
臓器別シンポジウム	日本がん治療認定医機構	各学会から、がん認定医・専門医の単位が交付される予定です（詳細は随時学術総会ホームページに掲載します）
	日本臨床腫瘍学会	
	日本病院薬剤師会	がん薬物療法認定薬剤師認定のための講習単位
本学術総会	（公財）日本薬剤師研修センター	研修認定薬剤師制度

※詳細は決定次第、学術総会ホームページにてお知らせいたします。

運営事務局

株式会社コングレ内
〒103-8276 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング
TEL:03-3510-3701 FAX:03-3510-3702 E-mail: jca2021@congre.co.jp
第80回日本癌学会学術総会運営事務局

託児所のご案内

会期中、無料託児所を開設いたします。詳細は学術総会ホームページをご確認ください。ご利用には事前予約が必要です。

国際化への取り組み

日本癌学会では、広く海外へ門戸を開き、各国の優れた研究者との交流・討論を通して、より一層の研究の進展を図ることを目指しています。そのため、本学術総会では以下の取り組みを実施いたします。会員の皆様の積極的な協力をお願い申し上げます。

- 抄録・発表資料（PowerPoint・ポスター）の全英語化
- International Sessionsの設置（詳細4頁）
グローバル化している時代をとらえ、International Sessionsを3日間にわたり設けます。奮ってご参加ください。
- Symposiaの英語化（詳細5頁）
Symposiaの公式言語の英語化を実施します。公募枠を設けますので、奮ってご応募ください。
- トラベルグラントの導入
第80回日本癌学会学術総会では、学会のさらなる国際化の推進を目的として日本以外のアジア諸国からの発表者へのトラベルグラントの実施を予定しております。応募条件・申請方法・審査方法・金額などの詳細については後日学術総会ホームページ等で連絡いたします。

80年を超え、がん撲滅の願いを未来へ

Bringing hope for future cancer eradication, building on the past 80 years

I am pleased to announce that the 80th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association will be held at Pacifico Yokohama for three days from September 30 (Thursday) to October 2 (Saturday), 2021. First held in Osaka in 1941, the annual meeting has been convened continuously for these 80 years, except when forced to cancel because of World War II. The forthcoming commemorative 80th Annual Meeting will be held on the theme, "Bringing hope for future cancer eradication, building on the past 80 years." Cutting-edge knowledge and technologies are expected to bring dramatic progress in the diagnosis and treatment of cancer, and are built upon the efforts and achievements of our predecessors. In the forthcoming meeting, therefore, we will look back on the wealth of such accumulated knowledge with gratitude and discuss new strategies to eradicate cancer by applying innovative technologies to overcome the difficulties faced by our predecessors.

The key mission of the Japanese Cancer Association is to win the battle against cancer through basic research. However, there is an obstacle to translating discoveries from basic research to clinical application, known as "the Valley of Death," and many cancer researchers have been disheartened by the depth of that valley. On the other hand, interdisciplinary collaboration among researchers in various rapidly-evolving fields has given rise to new scientific fields of study, and has had a tangible impact on the diagnosis and treatment of cancer. The involvement of specialists in a diverse range of studies, encompassing natural, human and social sciences, helps to overcome this obstacle in terms of both time and space, and drive the integration of basic research and clinical application. The development of innovative diagnosis and treatment methods requires collaboration across different disciplines, fields and professions, and such interdisciplinary efforts may enable some small discovery to suddenly win the battle against cancer.

The 80th Annual Meeting will be organized as an experimental forum where specialists in various fields, including corporate people, are brought together with the mission of eradicating cancer, and exploring how research ideals and hypotheses can be turned into reality. We thus hope to build a basis for organic partnerships among academia, industry and society to enable stakeholders with diverse backgrounds to think and work together. In addition, we will organize the meeting in a manner that captures the interest of young researchers and students, who will be the next generation of oncology leaders, and makes them want to participate. We will also build on the globalization efforts of preceding meetings to present a new form of globalization at the meeting.

Although the state of the Covid-19 pandemic by the time of the annual meeting is unclear, we hope to welcome you in person in Yokohama. We very much look forward to your participation and highly appreciate your valuable contribution to the presentations and discussions.

Hideyuki SAYA, M.D., Ph.D.

President, The 80th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
Professor, Division of Gene Regulation, Institute for Advanced Medical Research, Graduate School of Medicine, Keio University

令和3年(2021年)9月30日(木)～10月2日(土)の3日間、パシフィコ横浜において、第80回日本癌学会学術総会を開催させていただくこととなりました。第1回日本癌学会学術総会が1941年に大阪で開催されてから、途中第二次世界大戦でやむなく休会があったものの、2021年に第80回を数えることとなります。私達はこの記念すべき総会を「80年を超え、がん撲滅の願いを未来へ」というテーマで開催することにいたしました。新しい知識や技術に基づいてがんの診断や治療は今後飛躍的に発展することが期待されますが、それらは全て先人の努力と成果の上に積み上げられたものです。第80回総会ではこのような先人によって構築された知識の集積を感謝の気持ちをもって顧み、そして彼らにとって困難であった部分を技術革新によって克服し、新たながん撲滅のための戦略を議論したいと考えております。

がんの基礎研究を通してがんを征圧することが日本癌学会の最も重要なミッションであることは間違いありません。しかし、基礎研究で得られた創薬シーズを臨床現場で応用する過程には「死の谷」と呼ばれる大きなギャップがあり、これまで多くのがん研究者たちはその崖の前で呆然とせざるを得ませんでした。一方で、様々な分野の科学は飛躍的に発展を遂げており、それら異分野の研究者が協働することによって、全く新しい学術領域が拓け、それががんの診断や治療に確実にインパクトを与えるようになってきたことは事実です。理系のみならず文系を含めた多彩な分野の専門家の参入によって、時空間的にもこのギャップが縮まり、基礎と臨床が一体化する構図が生まれつつあります。革新的な診断・治療法の開発には、このような分野や領域、さらには職種を超えた協働が必要であり、小さな発見が一気にがんの征圧に繋がることも夢ではありません。

第80回学術総会では、企業を含めた多彩な分野の人々を「がんを撲滅する」というミッションのもとに集め、研究室内の理想と仮説を現実化するための実験的なフォーラムにしたいと考えております。そのため、アカデミア、企業、社会が共に考え、共に協働できる有機的な連携の仕掛けを構築したいと考えております。またこの観点に加えて、次世代のがん研究を担う若手研究者や学生たちが魅力を感じ、主体的に参加できる工夫を凝らしたいと考えております。また、これまでの学術総会が努力して積み上げてこられた国際化を引き継ぎ、新しい形のグローバル化を目指した総会にしたいと考えております。

開催時期において新型コロナウイルス感染がどのような状況になっているかはまだ読めませんが、可能ならば皆さまを横浜にお迎えし活発なご発表とご議論をいただきたいと願っております。ご参加をお待ち致しております。

第80回日本癌学会学術総会
学術会長 佐谷 秀行

慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所
遺伝子制御研究部門 教授

Special Lecture 英語

	タイトル	座長	
1	Recent progress in iPS cell research and application	Shinya Yamanaka	Kyoto University

JCA-AACR Joint Symposia 英語

	タイトル	座長	
1	Cancer metabolism	Keiichi Nakayama Heather R. Christofk	Kyushu University UCLA
2	Heterogeneity/Clonal evolution	Seishi Ogawa Charles Swanton	Kyoto University Crick Institute

Core Symposia 英語

	タイトル	座長	
1	Therapeutic resistance of cancer stem cells	Koichi Akashi Osamu Nagano	Kyushu University Keio University
2	Single cell biology of human cancer 公募	Hiroyuki Aburatani Shumpei Ishikawa	The University of Tokyo The University of Tokyo
3	Advances of cancer immunotherapy and future perspectives	Koji Tamada Yutaka Kawakami	Yamaguchi University International University of Health and Welfare
4	Precision disease modeling: organoid-driven cancer research 公募	Toshiro Sato Hiroshi Seno	Keio University Kyoto University

Core Symposia では、発表・進行・質疑応答がすべて英語で行われます。

- Core Symposia の公募枠への応募について
 - ・ Core Symposia に採用されなかった場合は、一般演題（口演またはポスター）での発表となりますので、一般演題用の応募演題分類（10・11頁）も選択してください。
 - ・ Core Symposia 演題登録画面の、「E. 応募演題分類」の項目で、該当セッションを選択してください。

特別企画 日本語

	タイトル	座長	
1	がん遺伝子パネル検査は、臨床の現場に革命をおこせたのか？：今から学び、未来へつなぐ	内富 庸介 劔持 広和	国立がん研究センター 静岡がんセンター
2	癌学会の歴史（80年を超えて）	野田 哲生 佐谷 秀行	公益財団法人がん研究会 慶應義塾大学
3	がん予防研究の未来展望	豊國 伸哉 戸塚 ゆ加里	名古屋大学 国立がん研究センター
4	Cancer X cancer research community ～立場を超えて、真のがん課題の解決へ～	上野 直人 三嶋 雄太	MDアンダーソン癌センター 京都大学
5	発がん研究100年の歴史から学ぶ個別化医療の展望	中釜 斉 益谷 美都子	国立がん研究センター 長崎大学
6	COVID-19流行下におけるがん診療	寺嶋 毅 松岡 雅雄	東京歯科大学 熊本大学
7	がん研究におけるHybrid研究者の役割	大西 伸幸 森下 大輔	株式会社島津製作所/慶應義塾大学 京都大学
8	がんゲノム医療から全ゲノム解析への展開 (癌治療学会・臨床腫瘍学会とのジョイントシンポジウム)	間野 博行 土岐 祐一郎 田村 研治	国立がん研究センター 大阪大学 島根大学
9	最新のXR(クロス・リアリティ)がつなぐ 若手がん研究者の近未来	足立 剛也 北原 秀治 早野 元詞	京都府立医科大学 東京女子医科大学 慶應義塾大学

- 特別企画は基本的には日本語で行われますが、海外演者については英語を使用言語とします。

特別シンポジウム 日本語および英語

	タイトル	座長	
1	がん研究における女性研究者(WSCR) 公募 日本語	金井 弥栄 谷川 千津	慶應義塾大学 東京大学
2	Hallmarks of cancer: がん研究レジェンド によるビデオシンポジウム 英語	畠山 昌則	東京大学

- がん研究における女性研究者(WSCR)シンポジウムの公募枠への応募について
 - ・「がん研究における女性研究者(WSCR)シンポジウム」では演題を公募し、シンポジストの中から優秀者の表彰を予定しています。応募される方は、演題募集画面の指示に従い、所定の追加フォームを記入してください。
 - ・「がん研究における女性研究者(WSCR)シンポジウム」に採用されなかった場合は、一般演題(口演またはポスター)での発表となりますので、一般演題用の応募演題分類(10・11頁)も選択してください。

International Sessions 英語

	タイトル	座長	
1	Extracellular vesicle-mediated cross-talk in cancer 公募	Takahiro Ochiya Tang-Long Shen	Tokyo Medical University National Taiwan University
2	Cell death, tumor suppressors and beyond 公募	Chiaki Takahashi Sharad Kumar	Kanazawa University University of South Australia
3	Epitranscriptome and tumor heterogeneity 公募	Hideshi Ishii Hao-Jian Zhang	Osaka University Wuhan University
4	Targeting super-enhancers in intractable cancer 公募	Miwa Tanaka H. Phillip Koeffler	The Cancer Inst., JFCR National University of Singapore
5	Advances in cellular immunotherapy 公募	Naoki Hosen Chenqi Xu	Osaka University Chinese Academy of Sciences
6	Epigenomic rewiring for oncogenic signal activation 公募	Atsushi Kaneda Patrick Tan	Chiba University Duke-NUS Medical School
7	Potentials of simulation modelling research in cancer control 公募	Kota Katanoda Eleonora Feletto	National Cancer Center Cancer Council New South Wales
8	UICC-related session (TBD)	TBD	TBD
9	Theoretic strategy for immune checkpoint inhibitor-based combination therapy 公募	Kenji Chamoto Mien-Chie Hung	Kyoto University China Medical University
10	Super-acceleration of early drug development 公募	Ken-ichiro Kamei Lijian Hui	Kyoto University Institute for Advanced Study Chinese Academy of Sciences
11	Single-cell analysis in cancer research 公募	Shinichi Yachida Woong-Yang Park	Osaka University Sungkyunkwan University
12	Frontline of genomic research in cancer 公募	Keisuke Kataoka Hongbing Shen	Keio University Nanjing Medical University

International Sessions では、発表・進行・質疑応答がすべて英語で行われます。

● International Sessions の公募枠への応募について

- ・ Session8を除くすべてのセッションで公募を予定しています、
- ・ International Sessions に採用されなかった場合は、一般演題（口演またはポスター）での発表となりますので、一般演題用の応募演題分類（10・11頁）も選択してください。
- ・ International Sessions 演題登録画面の、「E. 応募演題分類」の項目で、1～12のいずれかを選択してください。（Session8は指定演題ですので応募はできません。）

Symposia 英語

	タイトル	座長	
1	Forefront research on chromatin dynamics and its application to cancer medicine 公募	Hiroyuki Seimiya Makoto Nakanishi	Japanese Foundation For Cancer Research The University of Tokyo
2	Metastasis: development of novel strategies through multifaceted understanding 公募	Kyoko Hida Daizo Koinuma	Hokkaido University The University of Tokyo
3	Development of cancer immunotherapy for precision medicine 公募	Hiroyoshi Nishikawa Kazuma Kiyotani	National Cancer Center Japanese Foundation For Cancer Research
4	Evolving molecular targeted therapy 公募	Seiji Yano Ryohei Katayama	Kanazawa University Japanese Foundation for Cancer Research
5	Aging with and without cancer 公募	Eiji Hara Hozumi Motohashi	Osaka University Tohoku University
6	Cancer metabolism: beyond the Warburg 公募	Atsushi Hirao Tomoyoshi Soga	Kanazawa University Keio University
7	Futuristic methods for precision cancer medicine 公募	Hiroshi Nishihara Issei Imoto	Keio University Aichi Cancer Center Hospital
8	Understanding and targeting genetically-complex human malignancies 公募	Masaki Mori Fumihiko Ishikawa	Kyushu University RIKEN
9	Phenotypic heterogeneity and plasticity in cancer regulated by epigenetic mechanisms 公募	Issay Kitabayashi Mitsuyoshi Nakao	National Cancer Center Research Institute Kumamoto University
10	Evolution of Pathology: from morphological diagnosis towards a universal research platform 公募	Yae Kanai Kengo Takeuchi	Keio University Japanese Foundation for Cancer Research
11	Genomic analysis toward future clinical application 公募	Johji Inazawa Katsutoshi Oda	Tokyo Medical and Dental University The University of Tokyo
12	Microbiota and cancer 公募	Kenya Honda Naoko Ohtani	Keio University Osaka City University
13	Cutting-edge animal models for cancer research 公募	Yasuhiro Yamada Masato Kanemaki	The University of Tokyo National Institute of Genetics
14	Elucidating how chromosomal instability arises to identify cancer therapy targets 公募	Kozo Tanaka Ryu-Suke Nozawa	Tohoku University Japanese Foundation For Cancer Research

15	Issues and future directions of academia-pharma collaborations for novel drug development 公募	Naoya Fujita Noriko Gotoh	Japanese Foundation for Cancer Research Kanazawa University
16	Big data in cancer research 公募	Seiya Imoto Hiroaki Miyata	The University of Tokyo Keio University
17	Novel functions and clinical application of the most famous tumor suppressor gene p53 公募	Rieko Ohki Tomoaki Tanaka	National Cancer Center Research Institute Chiba University
18	Latest evidence and perspective on liquid biopsy 公募	Takayuki Yoshino Koji Ueda	National Cancer Center Hospital East Japanese Foundation for Cancer Research
19	New horizons in tumor microenvironment regulation targeting inflammation and angiogenesis 公募	Tetsuro Watabe Masanobu Oshima	Tokyo Medical and Dental University Kanazawa University
20	Drug discovery and diagnosis enhanced with AI 公募	Satoru Miyano Masahiro Jinzaki	Tokyo Medical and Dental University Keio University
21	Next-generation imaging tools pioneered by light 公募	Shinae Kizaka-Kondoh Mako Kamiya	Tokyo Institute of Technology The University of Tokyo
22	Relationship between clonal hematopoiesis and hematological malignancies/cardiovascular diseases/solid tumors 公募	Toshio Kitamura Atsushi Iwama	The University of Tokyo The University of Tokyo

● Symposiaの公募枠への応募について

- Symposiaに採用されなかった場合は、一般演題（口演またはポスター）での発表となりますので、一般演題用の応募演題分類（10・11頁）も選択してください。
- Symposia演題登録画面の、「E. 応募演題分類」の項目で、該当セッションを選択してください。

臓器別シンポジウム 日本語

	テーマ	座長	
1	消化管がんを対象とする新たな治療開発の方向性 公募	土井 俊彦 石本 崇胤	国立がん研究センター東病院 熊本大学
2	肝胆膵がんにおける基礎および臨床研究の進展 公募	坂元 亨宇 田中 真二	慶應義塾大学 東京医科歯科大学
3	肺がんのtranslational研究の臨床へのインパクト 公募	岡本 勇 光富 徹哉	九州大学 近畿大学
4	乳がん：Late recurrenceの基礎と臨床 公募	上野 貴之 下野 洋平	公益財団法人がん研究会 藤田医科大学
5	AYA世代のがん研究における最新の知見 公募	中村 卓郎 滝田 順子	公益財団法人がん研究会 京都大学
6	遺伝性がん 公募	中村 清吾 平沢 晃	昭和大学 岡山大学

●臓器別シンポジウムの公募枠への応募について

- ・臓器別シンポジウムに採用されなかった場合は、一般演題（口演またはポスター）での発表となりますので、一般演題用の応募演題分類（10・11頁）も選択してください。
- ・臓器別シンポジウム演題登録画面の、「E. 応募演題分類」の項目で、該当セッションを選択してください。

■ モーニングレクチャー 日本語または英語

	タイトル	演者	
1	エピジェネティクス研究のこれまでとこれから	牛島 俊和	国立がん研究センター
2	ケミカルゲノミクスが牽引するがん研究	吉田 稔	理化学研究所
3	がんの染色体高次構造解析	森 誠一	公益財団法人がん研究会
4	ショウジョウバエが明かすがんのバイオロジー	大澤 志津江	名古屋大学
5	がん細胞のアミノ酸代謝	服部 鮎奈	京都大学
6	単一細胞解析	丸山 玲緒	公益財団法人がん研究会
7	多臓器創生技術はここまできた	武部 貴則	東京医科歯科大学
8	細胞がん化のマルチオミクス解析	松本 雅記	新潟大学
9	医療AIの導入と活用のポイント	山本 陽一郎	理化学研究所
10	ゲノム編集技術の応用展開	真下 知士	東京大学
11	代謝ターゲット治療とプレシジョン栄養学	田沼 延公	宮城県立がんセンター
12	アクセプトされる論文の書き方	畠山 昌則	東京大学
13	がん治療の標的分子に求められる3つの条件	富田 章弘	公益財団法人がん研究会
14	がん微小環境の酸素センシング機構を標的とした創薬研究	坂本 毅治	金沢大学
15	臓器特異的腫瘍微小環境	平田 英周	金沢大学
16	がんの起源を探って	垣内 伸之	京都大学
17	がん細胞多様性のエピゲノム制御機構	日野原 邦彦	名古屋大学
18	CRISPR スクリーニング	遊佐 宏介	京都大学

19	ゲノム再編成の解析技術基盤	伊藤 武彦	東京工業大学
20	腸内デザインによるがんの予防・治療	福田 真嗣	慶應義塾大学
21	エクソソームの診断と治療への展開	高橋 暁子	公益財団法人がん研究会
22	ハダカデバネズミから教わるがんの発生機序	三浦 恭子	熊本大学

教育セッション・がん研究入門コース 日本語

	テーマ	演者	
1	Patient derived organoidsの基本と応用	八尾 良司	公益財団法人がん研究会
2	コホート・バイオバンクを基盤とする組織的ながん研究	村上 善則	東京大学
3	がん免疫とは何か：解析手法の基礎	富樫 庸介	千葉県がんセンター
4	アカデミア創薬のための基礎研究	一條 秀憲	東京大学
5	広がるノンコーディングRNAの世界	斉藤 典子	公益財団法人がん研究会
6	がん細胞の多様性研究の新展開	柴田 龍弘	東京大学
7	がんの発生から進展における細胞競合	藤田 恭之	京都大学
8	シグナル伝達研究のマイルストーンと展望	宮園 浩平	東京大学
9	生命科学を牽引するがん研究	間野 博行	国立がん研究センター
10	君にもできるシングルセル解析	鈴木 穰	東京大学
11	若手臨床医が基礎研究に携わる意義と方法	大家 基嗣	慶應義塾大学
12	医学研究における構造生物学の威力	濡木 理	東京大学

詳細は随時学術総会ホームページに掲載いたします

一般演題（口演・ポスター）応募演題分類

1 化学発がん・放射線発がん

- 1-1 発がん物質の活性化・代謝
- 1-2 発がん物質の検出・評価
- 1-3 DNA 損傷
- 1-4 発がん過程
- 1-5 一酸化窒素・活性酸素
- 1-6 遺伝毒性物質・非遺伝毒性物質
- 1-7 培養細胞実験系
- 1-8 放射線・電磁波発がん
- 1-9 その他

2 動物モデル・遺伝子改変動物

- 2-1 遺伝子操作動物モデル
- 2-2 動物発がんモデル
- 2-3 患者由来がんモデル
- 2-4 その他

3 ウイルス・細菌感染・炎症とがん

- 3-1 EBV
- 3-2 HPV
- 3-3 HBV
- 3-4 HCV
- 3-5 HTLV-1
- 3-6 HHV-8
- 3-7 *H.pylori*
- 3-8 その他のウイルス・細菌
- 3-9 腸内細菌
- 3-10 炎症とがん

4 がん遺伝子・がん抑制遺伝子

- 4-1 ras系遺伝子
- 4-2 p53 関連遺伝子
- 4-3 Rb・p16 関連遺伝子
- 4-4 Wntシグナル系遺伝子
- 4-5 染色体転座関連遺伝子
- 4-6 その他のがん遺伝子・がん抑制遺伝子
- 4-7 新規がん遺伝子・がん抑制遺伝子

5 シグナル伝達と遺伝子発現

- 5-1 増殖・分化
- 5-2 シグナル伝達
- 5-3 転写制御
- 5-4 翻訳制御
- 5-5 RNA工学
- 5-6 ncRNA・microRNA
- 5-7 その他

6 DNA複製・細胞周期・ゲノム不安定性

- 6-1 細胞周期・チェックポイント
- 6-2 DNA複製
- 6-3 DNA修復
- 6-4 ゲノム不安定性

7 がんゲノム・遺伝学

- 7-1 ゲノム解析
- 7-2 ゲノム医療
- 7-3 次世代シーケンサー
- 7-4 ゲノム編集
- 7-5 染色体領域欠失・ポジショナルクローニング
- 7-6 染色体転座・遺伝子再構成
- 7-7 遺伝子増幅
- 7-8 家族性腫瘍とその原因遺伝子
- 7-9 発がん感受性関連遺伝子 (SNPs)
- 7-10 その他

8 細胞死・不死化

- 8-1 細胞死
- 8-2 テロメア・老化・不死化
- 8-3 その他

9 エピジェネティクス

- 9-1 DNAメチル化
- 9-2 ヒストン修飾
- 9-3 クロマチン構造
- 9-4 その他

10 浸潤・転移

- 10-1 細胞接着・浸潤
- 10-2 細胞外マトリックスとプロテアーゼ
- 10-3 転移関連遺伝子
- 10-4 血管新生
- 10-5 転移診断
- 10-6 転移抑制
- 10-7 転移モデル
- 10-8 その他

11 がん細胞の特性

- 11-1 がん幹細胞
- 11-2 細胞分化
- 11-3 細胞間相互作用・接着因子
- 11-4 細胞株
- 11-5 オルガノイド
- 11-6 糖鎖及び糖転移酵素
- 11-7 細胞外小胞・エクソソーム
- 11-8 代謝・メタボローム
- 11-9 その他

12 がん免疫

- 12-1 自然免疫
- 12-2 樹状細胞・抗原提示細胞
- 12-3 腫瘍抗原
- 12-4 抗腫瘍エフェクター細胞とその誘導
- 12-5 免疫チェックポイント阻害剤
- 12-6 がんワクチン療法
- 12-7 抗体療法
- 12-8 その他の免疫療法
- 12-9 その他

13 増殖因子・サイトカイン・ホルモン

- 13-1 増殖・分化調節因子
- 13-2 増殖因子受容体
- 13-3 ホルモン
- 13-4 サイトカイン
- 13-5 TGF- β /Smad

Core Symposia、特別シンポジウム、International Sessions、Symposia、臓器別シンポジウムの公募枠での発表を希望する場合も、応募演題分類を必ずお選びください

14 臓器がんの基礎・診断・治療

- 14-1 胃がん
- 14-2 食道がん
- 14-3 大腸がん
- 14-4 GIST
- 14-5 肝がん
- 14-6 胆道がん
- 14-7 膵がん
- 14-8 肺がん
- 14-9 乳がん
- 14-10 子宮がん
- 14-11 卵巣がん
- 14-12 造血器腫瘍
- 14-13 腎がん
- 14-14 膀胱がん
- 14-15 前立腺がん
- 14-16 精巣腫瘍
- 14-17 脳神経腫瘍
- 14-18 原発性骨腫瘍
- 14-19 軟部腫瘍
- 14-20 頭頸部がん
- 14-21 内分泌腫瘍
- 14-22 皮膚がん
- 14-23 小児がん・AYA
- 14-24 その他の臓器のがん

15 診断

- 15-1 病理診断
- 15-2 画像診断
- 15-3 バイオ・腫瘍マーカーによる診断
- 15-4 ゲノム診断
- 15-5 発現解析 (mRNA・蛋白) による診断
- 15-6 新しい診断技術
- 15-7 リキッドバイオプシー
- 15-8 AIによるがん診断
- 15-9 その他

16 分子標的治療

- 16-1 シグナル伝達阻害剤・キナーゼ阻害剤
- 16-2 血管新生阻害剤・抗転移剤
- 16-3 細胞周期阻害剤 (CDK阻害剤等)
- 16-4 転写モジュレーター (ヒストンデアセチラーゼ阻害剤等)
- 16-5 その他の分子標的薬

17 化学療法・内分泌療法

- 17-1 天然抗がん物質
- 17-2 合成抗がん物質
- 17-3 DNA作用薬 (プラチナ化合物・トポイソメラーゼ阻害剤等)
- 17-4 代謝拮抗剤
- 17-5 微小管作用薬 (タキサン・アルカロイド等)
- 17-6 抗がん剤耐性
- 17-7 抗がん剤と細胞死
- 17-8 内分泌療法
- 17-9 分化誘導療法
- 17-10 ドラッグデリバリーシステム
- 17-11 併用療法・補助療法
- 17-12 その他

18 薬理効果の評価と予測

- 18-1 薬剤感受性・耐性因子・遺伝子発現解析
- 18-2 薬物動態 (PK/PD)
- 18-3 薬理ゲノム・毒性ゲノム (SNPs・トランスクリプトーム・プロテオーム)
- 18-4 感受性試験
- 18-5 臨床試験
- 18-6 バイオバンク

19 放射線治療

- 19-1 放射線・粒子線治療
- 19-2 放射線障害・防護
- 19-3 放射線感受性
- 19-4 放射線効果増強
- 19-5 温熱療法
- 19-6 その他

20 細胞治療と再生医学

- 20-1 幹細胞
- 20-2 再生医療
- 20-3 同種移植による細胞治療
- 20-4 その他

21 遺伝子治療

- 21-1 ベクター開発と改変
- 21-2 免疫遺伝子治療
- 21-3 がん遺伝子・がん抑制遺伝子治療
- 21-4 自殺遺伝子治療
- 21-5 核酸医薬治療 (デリバリーを含む)
- 21-6 その他

22 進行期がんの医療

- 22-1 サイコオンコロジー
- 22-2 緩和医療・緩和ケア
- 22-3 その他

23 がんの予防・化学予防

- 23-1 発がん抑制の機構
- 23-2 合成化学物質
- 23-3 天然成分
- 23-4 食餌性因子
- 23-5 その他

24 疫学

- 24-1 環境要因・感染暴露
- 24-2 がん易罹患性・分子疫学
- 24-3 コホート研究
- 24-4 記述疫学・がん登録
- 24-5 がん検診
- 24-6 その他

25 情報

- 25-1 バイオインフォマティクス
- 25-2 がん患者データ管理・解析
- 25-3 その他

26 がんと社会

- 26-1 インフォームドコンセント
- 26-2 生命倫理
- 26-3 対がん活動
- 26-4 喫煙・飲酒
- 26-5 その他

オンラインによる演題登録の手引

Core Symposia、特別シンポジウム、 International Sessions、Symposia、 臓器別シンポジウム 公募登録締切	2021年4月8日(木) 正午 ※ Core Symposia、特別シンポジウム、International Sessions、Symposia、臓器別シンポジウムの公募枠に応募する場合の締切です。4月8日(木) 正午以降の応募は、自動的に「一般演題」への応募として対応いたします。
一般演題(口演・ポスター) 登録締切	2021年4月22日(木) 正午

ホームページ：<http://www.congre.co.jp/jca2021/>

喫煙関連産業または喫煙関連産業からの出資金で運営される団体等から資金提供を受けた研究については、日本癌学会の学術集会での発表および学会誌への投稿はできません。

- 事務効率化と経費節減のため、演題応募はインターネットからのオンライン登録といたします。
- 締切直前は応募が集中し、アクセスしにくくなる場合がございます。締切直前のアクセス集中が原因で登録できない場合でもUMIN、事務局ともに責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- **倫理上問題のある演題・商業目的の演題はご遠慮ください。**
- 演題の採否に関しては会長に一任ください。不採択理由の開示は行っておりません。

インターネット環境について

- 登録システムは【Firefox】【Google Chrome】【Internet Explorer】【Microsoft Edge】【Safari】で動作確認を行っております。それ以外のブラウザはご利用にならないようお願いいたします。
- 電子メールによる連絡が円滑に行える環境であることが条件になります。本人の電子メールアドレス、または本人に連絡がつく電子メールアドレスが必要です。
- 受領の連絡・採否等の連絡は電子メール等で行います。
- 運営事務局からの連絡を電子メールで行う際は、連絡先として登録された電子メールアドレスに配信されます。連絡先が筆頭演者本人のものでない場合はご注意ください。

- 本学術総会での学術総会記事(抄録集)の抄録は英文で製作します。**抄録は英文での執筆をお願いいたします。**
- 指定演題の抄録も必ず英文をお願いいたします。研究発表の抄録を海外からの参加者が読めるようにするなど、\日本癌学会の国際化の一環として英文化にご協力ください。

入力の前に

- プログラム・学術総会記事(抄録集)では、ご本人が登録されたデータをそのまま使用いたします。ミスタイプがあってもそのまま印刷されますのでご注意ください。
- 登録締切後の原稿の変更は一切できません。共同演者の追加・変更等もできませんので、重要な共同演者が漏れていることのないように十分ご確認ください。
- 共同演者の会員・非会員の別、会員番号などはあらかじめご確認ください。締切間際には確認できないことがありますので早めにご確認ください。
- 抄録本文を入力する場合、初めからホームページ上で文章を作成せず、手持ちのワープロソフトやエディターなどで作成した文章を、コピー・ペースト機能を用いて入力欄に貼り付けることをお勧めいたします。これにより、事前のチェックを入念に行うことが可能です。

Participants from overseas please check the following website. URL <http://www.congre.co.jp/jca2021/>

演題登録の方法

1. 第80回日本癌学会学術総会ホームページ <http://www.congre.co.jp/jca2021/> から、メニューの「演題募集」をクリックしてください。指定演題にてご講演いただく先生方には、別途演題登録ページおよび締切を運営事務局よりご案内しますので、ホームページに掲載している一般演題登録ページからはご登録いただかないようご注意ください。
2. 新規に演題登録される場合は「新規登録」をクリックしてください。登録済みの演題を確認・修正される場合は「確認・修正」をクリックしてください。演題登録後も、登録締切期日までは何度でも自分の演題を確認・修正することが可能です。
確認画面を開く場合は、演題登録時に発行される登録番号およびご自身で入力されたパスワードが必要です。
3. 第三者の閲覧・悪用を避けるため、演題登録は暗号通信をご利用ください。平文通信は暗号通信で演題登録がうまくいかない場合のみご利用ください。
4. 第80回日本癌学会学術総会では、アンコール演題*の登録も受け付けておりますが、登録時に下記の留意事項をお守りください。
 - ・抄録本文にアンコール演題であることを明示する。
 - ・著作権が別に生じている場合は、発表者の責任で承諾を得る。
また、著作権者が学会や出版社の場合、承諾を得て掲載していることを元の抄録の書誌情報等と一緒に抄録本文末尾に記載する。*すでに海外で発表した内容とほぼもしくは同一の演題を日本国内で発表すること。
5. 第80回日本癌学会学術総会では、学部学生を筆頭演者とするポスター演題の応募を受け付けています。当該研究を指導された先生方の責任のもと、登録内容をご確認いただき、先生方は共同演者としてのご登録をお願いします。その際、学部学生は日本癌学会会員である必要はありませんが（会員番号は00000を入力）、共同演者はすべて日本癌学会会員に限られます。また演者が学部学生のみでの演題は受け付けられませんのでご注意ください。

演題登録画面の説明

(必須)の記載がある欄は入力必須項目です。データが入力されず空欄のままでは、登録できない設定となっています。

筆頭演者 一般演題への筆頭演者としての登録は、1名につき1題に限られます。なお、指定演題（特別企画・モーニングレクチャーなど）演者の方は、一般演題の筆頭演者としての登録はできません。

和文氏名(必須) 姓と名を分けて記入してください。

外国人は原則として英語表記にしてください。

英文氏名(必須) 姓・名とも最初の1文字のみ大文字にしてください。

会員番号(必須) 現在入会手続き中で番号をお持ちでない方は、99999を入力し、(社)日本癌学会ホームページの入会のお手続きよりwebにて、もしくは所定の用紙(18頁)を用い、入会手続きをしてください。
会員番号については16頁を参照してください。

筆頭演者名 氏名 英文表記 <半角> (必須)

姓名とも始めの1文字のみ大文字にしてください。

姓 Yamada 名 Taroh

所属機関

所属機関名は15施設まで記入できます。機関名は正式名ではなく、略称で記入してください。

英文呼称は学術総会ホームページにサンプルがございますので、ご覧の上、ご記入ください。和文略称については表記は定めませんので通常お使いのものを記入してください。

各々の機関名につき下記の字数を超えた部分は登録できません。

機関名和文(必須) 20字以内で記入してください。

機関名英文(必須) 10ワード以内で記入してください。

共同演者

15名まで登録できます。和文氏名・英文氏名・会員番号を記入してください。記入方法は筆頭演者に準じます。

共同演者もすべて日本癌学会会員に限られます。会員番号が確認できない場合は、学術総会ホームページ上の会員番号検索でお調べください。それでも分からない場合、日本癌学会事務局にお問い合わせください(16頁)。会員でない方は、入会手続きをお済ませください(17頁)。また、未入会の演者が含まれている場合は、筆頭演者(連絡先)の方に入会依頼の連絡をいたしますので、該当の方に入会手続きをしてくださるようにご手配をお願いいたします。外国の研究など入会が望めない場合は、共同演者の欄に記入せずに、抄録本文に記載してください。

連絡先(必須)

演題の採否・発表日時等に関する連絡は電子メール等で行います。

連絡先が筆頭演者本人のものでない場合は、筆頭演者への連絡が確実に伝達されるようにしてください。

発表言語	希望される発表言語を選択してください。 ※ Core Symposia、International Sessions、Symposia への公募を希望される場合は、英語での発表が必須です。
発表形式 (必須)	ご希望の発表形式を選択してください。 学部学生を筆頭演者とする演題は「学部学生ポスター」を選択してください(学部学生による口頭発表はできません)。
Core Symposia、特別シンポジウム、International Sessions、Symposia、臓器別シンポジウム	Core Symposia、特別シンポジウム、International Sessions、Symposia、臓器別シンポジウムへの公募を希望される場合は、希望のセッション(テーマ)を選択してください。
応募演題分類 (必須)	メニューに従って該当項目を選択してください。応募分野によっては、さらに細項目の選択が必要になります。 細項目の詳細につきましては、学術総会ホームページ「演題登録」の項をご参照ください。 *指定演題の場合は、画面に従い、指定演題区分・セッションタイトルを選択してください。
ポスター賞の 対象	第80回日本癌学会学術総会では、若手研究者が第一演者(発表者)とするポスター演題を対象に「JCA 若手研究者ポスター賞」を設ける予定です。応募資格は、「1) 大学学部生もしくは大学院生、または 2) 令和3年4月1日時点で40歳未満」の方です。応募資格及び審査対象としての応募について、該当する場合はチェックボックスにチェックを入れてください。
アンコール演題	アンコール演題に該当する場合にはチェックボックスにチェックを入れてください。
演題名 (必須)	英文は半角換算で120文字(和文は60文字・スペース含む)まで入力できます。この字数を超えた部分は登録できません。
抄録本文 (必須)	英文は半角換算で1,200文字(スペース含む)まで入力可能です。この字数を超えて入力した場合には登録できません。各パラグラフの最初の1文字は空けないで、すべて左詰で記入してください。
キーワード (必須)	2項目まで選択してください。演題登録画面のキーワード一覧表から、該当するキーワードを選びコード番号を入力してください。キーワード一覧表に適切なものがない場合はキーワード3の欄に英語3単語以内で入力してください(日本語は使用できません)。キーワードは入力欄の1及び2または3の2項目が採用されます。
利益相反に ついて(必須)	演題に関連する企業と、筆頭演者および研究責任者の間における利益相反状態(過去3年間)の有無を選択してください。利益相反状態が有る場合には、その企業・団体名等を記入してください。詳細は学術総会ホームページでご確認ください。
その他(必須)	抄録著作権が学会に帰属することについて同意のチェックを入れてください。同意いただけない場合、抄録を登録することはできません。 発表内容を癌学会公式Twitterで発信することについて「同意する」または「同意しない」のいずれかを選択してください。
パスワード (必須)	登録した抄録を、確認・修正するためのパスワードを入力してください。制限文字数は半角英数文字6~8文字です(大文字と小文字は区別されず)。抄録締切までは、登録された抄録を自由に確認・修正することができます。この際、登録時に発行された登録番号およびパスワードが必要です。 第三者の閲覧・悪用を防ぐため、第80回日本癌学会学術総会運営事務局は登録番号・パスワードの問い合わせには応じられません。登録番号・パスワードは、必ず別に記録してください。
登録の完了	登録完了後、ただちに連絡先電子メールアドレスに入力確認のメールが送信されます。確認のメールが送られてこない場合は、確認・修正の画面で連絡先電子メールアドレスが正しく入力されているかご確認ください。

オンライン入力の諸注意

入力全般について

1. (必須)の記載がある欄は入力必須項目です。データが入力されず空欄のままでは、登録できない設定となっています。
2. 記入欄は必ず左詰で、スペースを空けずに入力してください。抄録本文記入欄も同様です。
3. 文字数が制限されている欄は、文字数を守って入力してください。制限文字数を超えた部分は登録できません。飾り文字等は全角に換算して計算され、スペースも文字数にカウントされます。演題名・本文については使用文字数が自動的に計算されますのでご参照ください。
4. ワードプロソフトで作成した文章を入力欄に貼り付ける場合、ワードプロソフト上での書体・修飾文字等の情報は失われます。また改行指定もすべて自動的に削除されますので、入力欄で改めて書体設定・改行を入力し直してください。改行指定は、改行したい位置に
と入力します。
5. 抄録本文の入力欄にはタイトル・所属機関名は記入せず、本文のみを入力してください。**図表は使用できません**。

文字入力について

1. 英字および数字は半角 (1バイト文字) で記入してください。
2. カタカナは全角 (2バイト文字) で記入してください。半角カタカナは使用できません。
3. ギリシャ文字は全角 (2バイト文字) のみ使用可能です (例えば、文字パレット記号欄のギリシャ文字)。Symbol フォントの半角文字 (1バイト文字) は使用できません。
4. 演題名・抄録本文で上付き文字、下付き文字、斜め (イタリック) 文字、太文字、アンダーラインを使用することは可能です。以下の使用方法に従って設定を行ってください。

上記の設定を行う場合の英字、記号 (「<」、「>」や「/」等) はすべて半角文字 (1バイト文字) を使用してください。

ただし、文中で不等号として「<」、「>」を単独で用いる際は、全角 (2バイト文字) の記号を使用してください。

(悪い例) p<0.05 (良い例) p < 0.05

文字の修飾	設定の仕方	設定例	表示例
上付き文字	文字の前後を ^と で囲む	Na⁺	Na ⁺
下付き文字	文字の前後を _と で囲む	H₂O	H ₂ O
イタリック文字	文字の前後を <I> と </I> で囲む	<I>fos</I>	<i>fos</i>
太文字	文字の前後を と で囲む	太文字	太文字
アンダーライン*	文字の前後を <U> と </U> で囲む	<U>アンダーライン</U>	<u>アンダーライン</u>

* Macintosh のブラウザではアンダーラインが画面に表示されないことがありますが、印刷する場合には表示されます。

5. JIS規格に対応していない文字、飾り文字は使用できません。例えば、丸付き数字 (①、❷) がこれに相当します。間違っていると、登録確認時に注意され登録できません。

以上、オンラインでの演題登録には、使用されるパソコン環境による様々な制約がありますので、各人の責任において登録を行ってください。

参加登録手続き・参加費

事前参加登録締切：2021年7月30日(金) 正午
事前参加登録の締切日は発表の有無に関わらず同じです。

参加登録費

区 分		事前参加登録	当日参加登録
会員 (不課税)	一般会員	12,000円	15,000円
	大学院生	3,000円	4,000円
	学部学生	無料	無料
非会員 (税込)	一般	25,000円	30,000円
	大学院生	7,000円	8,000円
	学部学生	無料	無料

事前登録

- **事前参加登録の特典**：登録料が安く、学会前にプログラム集をお届けいたします。大学院生は、事前参加登録料・当日参加登録料とも割安に設定いたしましたので、奮ってご登録ください。大学院生・学部学生としての登録を希望する場合は、オンライン手続きの際に学生証の画像データ (JPEG または PDF 形式) をアップロードしてください。
- **事前参加登録期間**
2021年7月30日(金) 正午締切
(公募・一般演題の筆頭演者は、演題締切までに事前参加登録をお済ませください)
- **事前参加登録手続き**
学術総会ホームページよりオンラインにて事前参加登録をしてください。
URL: <http://www.congre.co.jp/jca2021/>
登録が正常に完了しましたら、通知メールが届きますので、登録内容を確認してください。
通知メールが届かない場合は正常に登録されていない可能性がありますので、学術総会参加登録事務局 (TEL: 03-3510-3701 / E-mail: jca2021-reg@congre.co.jp) までお問い合わせください。
- **プログラム集の送付先**
事前参加登録の際に登録された住所へ送付いたします。
確実にお手元にお届けするため、部署名等まで正確に登録してください。
- **事前参加登録の取消し**
7月30日(金) 以前に事前参加登録を取消される場合は、事務手数料3,000円を差し引いて返金いたします。学術総会参加登録事務局までご連絡の上、取消し手続きをとってください。(7月30日(金)以降の取消しはできません)

当日登録

- 当日参加登録の際には、**会員は会員番号が必要ですので、あらかじめ調べておいてください。**当日参加登録の詳細については、後日学術総会ホームページにて連絡いたします。
- 大学院生または学部学生としての登録には**証明書 (学生証など)**が必要です。コピー1部を併せて持参してください。コピーは責任を持って破棄いたします。
- プログラム集は当日参加登録後にお渡しいたします。

会員番号

- 会員番号が不明の方は、学術総会ホームページ上の会員番号検索でお調べください。それでも分からない場合は、(社) 日本癌学会事務局 E-mail: jca.office@imic.or.jp もしくは FAX: 03-3358-1633 まで問い合わせてください。
- 入会申込中の方は、会員番号欄に 99999 と記入してください。
- 筆頭演者・共同演者で未入会の方は、7月30日(金) までに入会手続きを済ませてください (17頁参照)。
- 学術総会会期中の入会受付はしていませんのでご注意ください。

Participants from overseas please check the following website. **URL** <http://www.congre.co.jp/jca2021/>

一般社団法人 日本癌学会入会手続き

- 発表者は共同演者も含めて日本癌学会会員に限られます。
外国の共同研究者など会員でない方は、共同演者欄ではなく、抄録本文のなかに共同研究者として記入してください。
- 未入会の演者が含まれている場合は、筆頭演者（連絡先）の方に入会依頼の連絡をいたしますので、該当の方に入会手続きをしてくださるよう手配をお願いいたします。
- 入会される方は、入会申込書（裏頁）を日本癌学会事務局まで郵送すると同時に、年会費（一般会員 8,000 円、学生会員 3,000 円）を巻末の郵便振替用紙で送金してください。なお、学生会員でお申込みの方は入会申込書送付時に必ず学生証（有効期限付き）のコピーを添付してください。学生証に有効期限の記載がない場合は、卒業予定年月日をお知らせください。
- 入会申込みには、評議員または名誉会員 1 名の推薦が必要です。評議員・名誉会員の名簿は日本癌学会ホームページ、<http://www.jca.gr.jp>に掲載されておりますのでご覧ください。推薦者がいない場合は、(一社) 日本癌学会事務局に相談してください。
- 学術総会会期中の入会受付はしていませんのでご注意ください。
- オンラインでの入会手続きも可能です。詳しくは日本癌学会のホームページ (<http://www.jca.gr.jp>) をご覧ください。

個人情報取扱いについて（熟読のうえ、同意をいただける場合のみお申込みください）

【目的】

一社) 日本癌学会では次の業務に利用するため、会員の個人情報※を収集いたします。

- (1) 事務局から会員への連絡
 - (2) 会員名簿の作成
 - (3) 委員会等における会員相互の連絡
 - (4) 本学会が主催/共催/後援するセミナー・シンポジウム等の案内の送付
- ※個人情報とは生年月日、氏名、その他個人の識別が可能なものを指します。

【目的による制限】

上記の目的を超えて会員の個人情報を利用する必要が生じた場合には、事前に会員にその目的を連絡いたします。個人情報の提供がいただけない場合、一部学会活動における権利が制限されることがあります。(例；生年月日の情報提供のない場合、年齢制限のある学術賞の応募、また定年制のある評議員、理事等役員候補になれません)

【安全管理措置・委託先の監督】

本学会は効率的に会員宛のサービスの提供を行うため、本学会が信頼できると判断し、機密保持契約を締結した法人等（以下、「業務委託先」とします）に個人情報を提供した上で業務を委託することがあります。業務委託先に対しては必要な目的の範囲内で必要な情報のみを開示し、サービスの提供を目的とする以外での情報の利用を禁止しております。

【個人情報の開示について】

本学会は、会員の個人情報を、会員の同意を得ることなく、業務委託先以外の第三者に開示することはありません。ただし、学会運営上、提供が必要な場合には、関係官庁、団体（厚生労働省、文部科学省、特許庁、日本医学会等）に対し、必要な個人情報項目に限定して、全会員の名簿を提供することがあります。また、法令により開示を求められた場合、または、裁判所、警察署等の公的機関から開示を求められた場合は、会員の同意なく個人情報を開示することがあります。

入会・会員番号に関するお問い合わせ先：

一般社団法人 日本癌学会事務局 〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 (一財) 国際医学情報センター内
TEL: 03-5361-7156(直通) FAX: 03-3358-1633 E-mail: jca.office@imic.or.jp

入会申込書記載上の注意

- 1) 開業しておられる方は、所属記入欄に“開業”と記し、病院(医院)名ならびに所在地を記入してください。
- 2) 研究領域は、〔研究領域分類〕1～56の中から2つ選択し、番号を記入してください。

研究領域分類（平成14年5月1日改訂）

- | | | | | |
|---------------------|----------------|-------------|------------|-----------------|
| 1 疫学 | 2 発癌 | 3 ウイルス学 | 4 有機化学 | 5 遺伝学 |
| 6 生化学 | 7 分子生物学 | 8 分子腫瘍学 | 9 ゲノム科学 | 10 エピジェネティクス |
| 11 ゲノム不安定性 | 12 増殖因子・サイトカイン | 13 シグナル伝達 | 14 細胞周期 | 15 アポトーシス |
| 16 浸潤・転移 | 17 血管新生 | 18 生物物理学 | 19 細胞生物学 | 20 免疫学 |
| 21 放射線生物学 | 22 微生物学 | 23 構造生物学 | 24 実験病理学 | 25 実験動物・遺伝子操作動物 |
| 26 人体病理学 | 27 内分泌学 | 28 薬理・薬剤学 | 29 脳神経腫瘍 | 30 頭頸部癌 |
| 31 消化器癌 | 32 肝・胆・膵癌 | 33 呼吸器癌 | 34 乳癌 | 35 婦人科癌 |
| 36 泌尿器癌 | 37 皮膚癌 | 38 白血病・リンパ腫 | 39 内分泌腫瘍 | 40 骨軟部腫瘍 |
| 41 小児癌 | 42 診断学 | 43 プロテオミクス | 44 細胞診断学 | 45 予防学 |
| 46 手術療法 | 47 化学療法 | 48 分子標的治療 | 49 免疫療法 | 50 遺伝子治療 |
| 51 放射線治療・温熱療法 | 52 再生医療 | 53 心理療法 | 54 進行期がん医療 | 55 医療情報・統計学 |
| 56 その他（ご自身でご指定ください） | | | | |

入 会 申 込 書

一般社団法人 日本癌学会 御中

申込日： 年 月 日

会員種別	(いずれかを○で囲む)	
	一般会員 ・ 学生会員 (有効期限付の学生証(写)添付のこと)	
ローマ字	(姓)	(名)
カタカナ		
漢字		

生年月日	年 月 日生
性別	(いずれかを○で囲む)
	男 ・ 女
E-mail	

所属機関	名称			送付先	
	部署名		職名		(いずれかを○で囲む)
	所在地	〒			
	Tel / Fax	Tel : (内線) / Fax :			
自宅	住所	〒		所属機関 ・ 自宅	
	Tel / Fax	Tel : (内線) / Fax :			

学歴	1) 学部卒業	(学校名)	学部名		卒業年次 (西暦)	年
	2) 大学院	(学校名)	博士課程 ・ 修士課程		卒業年次 (西暦)	年
学位 (博士号)	有 ・ 無	学位名称		取得年 (西暦)	専門分野 (17頁 研究領域分類より 2つ選択し、番号を記入)	
				年		

推 薦 書

一般社団法人 日本癌学会理事長 殿

上記の研究者 _____ は日本癌学会会員に値するものとして推薦致します。

研究歴、専門領域における評価などを加えて推薦ください。

年 月 日

日本癌学会 評議員 ・ 名誉会員 (いずれかを○で囲んでください) ご署名：

- ・ 会則第 5 条により評議員、名誉会員の内の 1 名から推薦を受けてください。
 - ・ 17 頁「個人情報の取り扱いについて」を熟読のうえ、同意いただける場合のみお申し込みください。
 - ・ 学生会員は学生証のカラーコピー (有効期限付) を添付してください。
- 【送付先】 〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 (一財) 国際医学情報センター内
 一般社団法人 日本癌学会事務局 TEL : 03-5361-7156 E-mail : jca.office@imic.or.jp

_____ 事務局記入欄 _____

入会日	会員番号	推薦者	領収書 No	ID・パスワード発行
年 月 日				□ 済 (月 日発行)

宿泊のご案内

- 宿泊設定期間** 2021年9月29日(水)～10月2日(土) 4泊(宿泊日基準)
- 宿泊料金** お一人様1泊あたり(朝食付、税・サービス料を含む)
- お申込み** インターネットでお申しいただくか、宿泊申込書を郵送またはFAXにて下記までお送りください。インターネットでのお申込は第80回日本癌学会学術総会ホームページ内にリンクの宿泊申込専用システム (<https://amarys-jtb.jp/jca2021>) より、空室状況を確認しながら予約が可能です。FAXの場合は、送信後、お電話にて着信確認のご連絡をお願いいたします。当宿泊プランでは記載がある以外の眺望、禁煙、喫煙等の部屋指定はできかねますので、ご了承ください。事前にお部屋を確保しておりますが、客室数に限りがございますので、お申込の際は必ず第2・第3希望までご記入願います。申込受付後、各種ご案内を送付させていただきます。

- お問い合わせ先** 株式会社JTB 横浜支店
「第80回日本癌学会学術総会」宿泊受付デスク
営業時間：午前9時30分～午後5時30分(土・日・祝日休業)
TEL：045-316-4602 FAX：045-316-5701 E-mail：jtb_convention@jtb.com

- 変更・取消について** 変更・取消のご連絡は、お申込書に変更内容をご記入いただき、再度郵送またはFAXにて弊社宛にお送りください。
お電話での変更・取消は承りません。取消料の基準は下記の通りです。

取消日	6日前まで	5日前～前日	当日 (14:00まで)	当日14:00以降 及び無連絡
料金	無料	20%	50%	100%

- 交通について** 各地から横浜へお越しの際の、航空・JR等のお手配も承りますのでお気軽にお問い合わせください。

- 個人情報の取扱いについて** 当社は申込書に記載された個人情報について、お客様の連絡のために利用させていただくほか、お申しいただいた宿泊・運送機関等の提供するサービスの手配およびサービスの受領のために必要な範囲内で利用させていただきます。

- お支払い方法**
- 銀行振込
手続き完了後、お支払いのご案内を送付いたします。記載の期日までにお支払いください。
注) 振込手数料はお客様負担にてお願い申し上げます。
 - コンビニエンスストア支払い
下記コンビニエンスストアでお支払いいただけます。
手続き完了後、お支払いのご案内を送付いたします。記載の期日までにお支払いください。
セブンイレブン/ローソン/ファミリーマート/セイコーマート
注) コンビニエンスストア収納代行手数料(420円)はお客様負担にてお願い申し上げます。
 - クレジットカード支払い
インターネットからのお申込に限り、クレジットカードがご利用いただけます。
宿泊申込書からお申込の場合にはご利用いただけません。

宿泊のご案内

お申し込みの際には必ず旅行条件書（全文）を（お申込み過程で画面表示）にて事前に内容をご確認の上、お申し込み下さい。

●募集型企画旅行契約

この旅行は株式会社JTB（〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 観光庁長官登録旅行業第64号。以下「当社」といいます。）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」といいます。）を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行のお申し込み及び契約成立時期

- (1) お申し込みの際には、旅行条件書全文をお渡しいたしますので、事前に内容をご確認頂き、所定の申込書に所定の事項を記入し、お申し込みください。
- (2) 電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段でお申し込みの場合、当社が予約の承諾の旨通知した翌日から起算して3日以内に申込書の提出をしていただきます。
- (3) 旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、お申込金を受領したときに成立するものとします。
- (4) お申込金（おひとり）：旅行代金全額。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって13日目にあたる日より前（お申し込みが間際の場合は当社が指定する期日までに）にお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いいただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

●旅行代金に含まれるもの

旅行日程に明示した運送機関の運賃・料金（注釈のないかぎりエコノミークラス）、宿泊費、食事代、コースに示した観光入場料及び消費税等諸税。これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。（コースに含まれない交通費等の諸費用及び個人的費用は含みません。）

●特別補償

当社が、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。・死亡補償金：1500万円・入院見舞金：2～20万円・通院見舞金：1～5万円・携行品損害補償金：お客様1名につき～15万円（但し、補償対象品1個あたり10万円を限度とします。）

●「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員（以下「会員」といいます。）より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受ける」こと（以下「通信契約」といいます。）を条件に申込を受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。

- (1) 契約成立は、当社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき（e-mail等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様の到達したとき）とします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等を通知して頂きます。(2) 与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

●国内旅行保険への加入について

ご旅行中、けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難である場合があります。これらを担保するため、お客様ご自身で充分な額の国内旅行保険に加入されることをお勧めします。国内旅行保険については、お申込の販売員にお問合せください。

●事故等のお申し出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに同行の添乗員・現地係員・運送・宿泊機関等旅行サービス提供機関、又は、お申込店にご通知ください。（もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。）

●個人情報の取扱について

- (1) 当社及び販売店は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びこれらのサービスの受領のために手続に必要な範囲内で利用させていただきます。(2) 大会事務局へ個人情報を提供する場合があります。

●旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2021年2月1日を基準としております。又、旅行代金は2021年2月1日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。当社はいかなる場合も旅行の再実施はいたしません。

◆お問い合わせ・お申し込みについて◆

【お問い合わせ先】(株)JTB横浜支店

「第80回 日本癌学会学術総会」宿泊受付デスク

住所：〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-29-1 第6安田ビル6階

TEL：045-316-4602 FAX：045-316-5701

E-mail：jtb-convention@jtb.com ※メールでのお問合せの際は学会名を明記ください。

営業時間：9:30-17:30（土・日・祝祭日は休業）

総合旅行業務取扱管理者：浦上博行

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の取扱管理者にお尋ねください。

旅行企画・実施

株式会社JTB

〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11

観光庁長官登録旅行業第64号



旅行業公正取引
協議会 会員



ボンド保証会員

地区	No.	ホテル名	ホテルグレード	シングルルーム 1名利用		ツインルーム (or ダブルルーム) 2名1室利用		ツインルーム (or ダブルルーム) 1名1室利用		会場 アクセス
				記号	お一人様 旅行代金 (円)	記号	お一人様 旅行代金 (円)	記号	お一人様 旅行代金 (円)	
会場周辺・みなとみらい	1	ヨコハマグランドインター コンチネンタルホテル (全室禁煙) *ツインもしくは ダブル利用となります	S	1-S	-	1-T	9/29・30…14,850円 10/1…15,950円 10/2…24,750円	1-TS	9/29・30…26,400円 10/1…28,600円 10/2…42,900円	会場隣接
	2	横浜ベイホテル東急	S	2-S	-	2-T	9/29・30…12,650円 10/1…13,750円 10/2…20,350円	2-TS	9/29・30…23,100円 10/1…25,300円 10/2…38,500円	徒歩2分
	3	横浜ロイヤルパークホテル (全室禁煙)	S	3-S	-	3-T	9/29・30…14,300円 10/1…15,950円 10/2…22,550円	3-TS	9/29・30…25,300円 10/1…27,500円 10/2…37,400円	徒歩5分
	4	ナビオス横浜	B	4-S	9/29・30…11,980円 10/1・2…13,630円	4-T	9/29・30…10,880円 10/1・2…12,530円	4-TS	-	徒歩6分
	5	ホテルビスタプレミア 横浜みなとみらい (全室禁煙)	B	5-S	9/29・30…13,750円 10/1…14,300円 10/2…21,450円	5-T	9/29・30…8,250円 10/1…8,800円 10/2…14,850円	5-TS	9/29・30…15,400円 10/1…16,500円 10/2…28,600円	徒歩8分
	6	横浜東急REIホテル (全室禁煙) *ダブルルーム利用と なります	B	6-S	-	6-T	7,800円	6-TS	14,100円	徒歩 15分
桜木町	7	ニューオータニイン横浜 (全室禁煙)	A	7-S	-	7-T	9/29・30…11,000円 10/1…12,100円 10/2…17,050円	7-TS	9/29・30…16,500円 10/1…18,700円 10/2…27,500円	徒歩 10分
	8	横浜桜木町ワシントンホテル (全室禁煙)	C	8-S	9/29…10,450円 9/30・10/1…11,220円 10/2…16,610円	8-T	9/29…8,470円 9/30・10/1…9,240円 10/2…15,290円	8-TS	-	徒歩 12分
	9	ブリーズベイホテル リゾート&スパ	C	9-S	9/29～10/1…9,200円 10/2…11,700円	9-T	-	9-TS	-	徒歩 15分
関内・馬車道	10	アパホテル&リゾート 横浜ベイタワー	C	10-S	9/29～10/1…9,350円 10/2…15,950円	10-T	-	10-TS	-	徒歩 12分
	11	ダイワロイネットホテル 横浜関内	B	11-S	11,000円	11-T	-	11-TS	-	電車利用 約20分
	12	ダイワロイネットホテル 横浜公園	B	12-S	9/29～10/1…11,550円 10/2…14,850円	12-T	-	12-TS	-	電車利用 約20分
	13	コンフォートホテル 横浜関内 (全室禁煙)	D	13-S	9/29～10/1…8,300円 10/2…13,300円	13-T	9/29～10/1…6,050円 10/2…9,050円	13-TS	9/29～10/1…9,300円 10/2…15,300円	電車利用 約15分
	14	ホテルルートイン 横浜馬車道	D	14-S	9/29～10/1…14,100円 10/2…19,100円	14-T	9/29～10/1…12,050円 10/2…17,050円	14-TS	9/29～10/1…24,100円 10/2…34,100円	電車利用 約15分
	15	横浜平和プラザホテル	D	15-S	9/29～10/1…9,130円 10/2…13,090円	15-T	9/29～10/1…6,490円 10/2…11,880円	15-TS	9/29～10/1…11,880円 10/2…22,660円	電車利用 約15分
山下公園	16	ホテルニューグランド	S	16-S	-	16-T	9/29・30…12,650円 10/1…13,750円 10/2…21,450円	16-TS	9/29・30…20,900円 10/1…23,100円 10/2…33,550円	電車利用 約20分
	17	ローズホテル横浜	A	17-S	-	17-T	9/29…9,900円 9/30・10/1…10,450円 10/2…17,600円	17-TS	9/29…15,950円 9/30・10/1…17,050円 10/2…30,250円	電車利用 約20分
横浜駅	18	横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ (全室禁煙)	S	18-S	-	18-T	9/29～10/1…17,550円 10/2…19,970円	18-TS	9/29～10/1…26,510円 10/2…31,350円	電車利用 約20分
	19	ホテル横浜キャメロット ジャパン	B	19-S	9/29・30…9,350円 10/1…9,900円 10/2…11,550円	19-T	9/29・30…8,250円 10/1…8,800円 10/2…10,450円	19-TS	-	電車利用 約20分
	20	ホテルユニゾ横浜駅西	B	20-S	9/29～10/1…10,615円 10/2…11,165円	20-T	-	20-TS	-	電車利用 約20分

◆朝食付き／消費税10%・サービス料込 おひとり様当たりの宿泊代金となります

宿泊のご案内



No.	ホテル名
①	ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
②	横浜ベイホテル東急
③	横浜ロイヤルパークホテル
④	ナビオス横浜
⑤	ホテルビスタプレミアオ横浜みなとみらい
⑥	横浜東急REIホテル
⑦	ニューオータニイン横浜
⑧	横浜桜木町ワシントンホテル
⑨	ブリーズベイホテルリゾート&スパ
⑩	アパホテル&リゾート横浜ベイタワー

No.	ホテル名
⑪	ダイワロイネットホテル横浜関内
⑫	ダイワロイネットホテル横浜公園
⑬	コンフォートホテル横浜関内
⑭	ホテルルートイン横浜馬車道
⑮	横浜平和プラザホテル
⑯	ホテルニューグランド
⑰	ローズホテル横浜
⑱	横浜ベイシェラトンホテル& Towers
⑲	ホテル横浜キャメロットジャパン
⑳	ホテルユニゾ横浜駅西

**第 80 回日本癌学会学術総会
【宿泊申込書】**

申込締切日⇒2021年8月31日(火)

FAX 送信先:045-316-5701

(ふりがな) 申込者氏名	()	勤務先名 (所属機関名)	
連絡先住所	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅 〒		
		TEL	()
宿泊確認書の受取方法のご指定 (FAX or E-mailにて受取りが可能です)	<input type="checkbox"/> FAX (下記に FAX 番号を記載下さい)	<input type="checkbox"/> e-mail (下記にメールアドレスを記載下さい)	

* お申込は記号にて、必ず第 3 希望までご記入下さい。尚、ツイン(2名1室)ご利用の方は必ず同室者名をご記入ください。
* FAX 送信後、お手数ですが着信確認をしていただきますようお願いいたします。(TEL: 045-316-4602)

フリガナ 宿泊者氏名	性別	ご宿泊日		泊数	ホテル申込番号			フリガナ 同室者氏名
		チェックイン	チェックアウト		第1希望	第2希望	第3希望	
ヨコハマ タロウ 記入例 横浜 太郎	(男) 女	9/29	10/3	4	1-T	2-T	3-T	ヨコハマ ハナコ 横浜 花子
	男女							
	男女							
	男女							
	男女							

◆お支払方法のご指定◆ 銀行振込 コンビニエンスストア払い(下記にご記入下さい)

払込コンビニエンスストアの選択	<input type="checkbox"/> セブンイレブン <input type="checkbox"/> ローソン <input type="checkbox"/> ファミリーマート <input type="checkbox"/> セイコーマート
-----------------	---

◆ご返金口座◆(変更・取消等の返金先)

銀行名	支店名	種別	口座番号	口座名義(カタカナでご記入ください)
銀行	支店	普通・当座		

◆ご要望自由記入欄◆

◆お申込・お問い合わせ◆

(株) JTB 横浜支店
「第 80 回日本癌学会学術総会 宿泊受付デスク」
 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 3-29-1 第 6 安田ビル 6 階
 TEL: 045-316-4602 FAX: 045-316-5701 e-mail: jtb_convention@jtb.com
 [営業時間]午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分(土・日・祝日休業)
 担当: 楠元・成重・廣瀬・佐藤(真)
 総合旅行業務取扱管理者: 浦上 博行

**JTB 旅行企画・実施
株式会社 JTB**

観光庁長官登録旅行業第 64 号
 日本旅行業協会正会員・旅行業公正取引協議会会員
 〒100-6051 東京都品川区東品川 2-3-11

* 総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がありましたら、ご遠慮なく上記の総合旅行業務取扱管理者にご質問下さい。

一般社団法人 日本癌学会入会申込用振替用紙

一般社団法人 日本癌学会への入会申込みにはこの振込み用紙をお使いください。
 詳細は「一般社団法人 日本癌学会入会手続き」をご覧ください。

00		東京		払 込 取 扱 票																			
口座記号番号														金額		千	百	十	万	千	百	十	円
0 0 1 3 0 4 1 7 4 4 2 3														※									
加入者名														料 金		備 考							
一般社団法人 日本癌学会																							
※おとこ・おなまえ																							
〔新入会〕																							
ご依頼人・通信欄																							
※下記□に✓をチェックの上、該当する金額を金額欄にご記入ください。																							
<input type="checkbox"/> 一般会員 8,000円 <input type="checkbox"/> 学生会員 3,000円																							
Tel. _____ ext. _____														日 附 印									
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第51591号) これより下部には何も記入しないでください。																							

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号		0 0 1 3 0 4													
		1 7 4 4 2 3													
加入者名		一般社団法人 日本癌学会													
金額		千	百	十	万	千	百	十	円	※					
払込人住所氏名		おなまえ													
		様													
料 金		(消費税込み)		日 附 印											
		円													
備 考															

この受領証は、大切に保管してください。

00		東京		払 込 取 扱 票																			
口座記号番号														金額		千	百	十	万	千	百	十	円
0 0 1 3 0 4 1 7 4 4 2 3														※									
加入者名														料 金		備 考							
一般社団法人 日本癌学会																							
※おとこ・おなまえ																							
〔新入会〕																							
ご依頼人・通信欄																							
※下記□に✓をチェックの上、該当する金額を金額欄にご記入ください。																							
<input type="checkbox"/> 一般会員 8,000円 <input type="checkbox"/> 学生会員 3,000円																							
Tel. _____ ext. _____														日 附 印									
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第51591号) これより下部には何も記入しないでください。																							

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号		0 0 1 3 0 4													
		1 7 4 4 2 3													
加入者名		一般社団法人 日本癌学会													
金額		千	百	十	万	千	百	十	円	※					
払込人住所氏名		おなまえ													
		様													
料 金		(消費税込み)		日 附 印											
		円													
備 考															

この受領証は、大切に保管してください。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することになります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することになります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。

第80回日本癌学会学術総会

組織委員会(敬称略)

学術会長	佐谷 秀行	慶應義塾大学医学部先端医科学研究所
財務幹事	西原 広史	慶應義塾大学病院臨床研究推進センター
財務副幹事	三宅 秀明	浜松医科大学
総務幹事	副島 研造	慶應義塾大学病院臨床研究推進センター
総務副幹事	永野 修	慶應義塾大学医学部先端医科学研究所
編集幹事	広田 亨	がん研究会がん研究所
編集副幹事	北林 一生	国立がん研究センター研究所
編集副幹事	清宮 啓之	がん研究会がん化学療法センター
協働委員会委員	有馬 好美	慶應義塾大学医学部先端医科学研究所
国際連携担当	島山 昌則	東京大学大学院医学系研究科

一社) 日本癌学会

学術担当(基礎)	村上 善則	東京大学医科学研究所
学術担当(臨床)	森 正樹	九州大学大学院医学系研究科
第81回学術会長	村上 善則	東京大学医科学研究所

プログラム委員(敬称略)

広田 亨	がん研究会がん研究所	下野 洋平	藤田医科大学医学部
清宮 啓之	がん研究会がん化学療法センター	陣崎 雅弘	慶應義塾大学医学部
北林 一生	国立がん研究センター研究所	曾我 朋義	慶應義塾大学医学部先端生命科学研究所
赤司 浩一	九州大学大学院医学研究院	高橋 智聡	金沢大学がん進展制御研究所
油谷 浩幸	東京大学先端科学技術研究センター	滝田 順子	京都大学大学院医学研究科
石川 俊平	東京大学大学院医学系研究科	田久保圭誉	国立国際医療研究センター
石本 崇胤	熊本大学大学院	竹内 賢吾	がん研究会がん研究所
一條 秀憲	東京大学大学院薬学研究所	田中 耕三	東北大学加齢医学研究所
稲澤 譲治	東京医科歯科大学難治疾患研究所	田中 美和	がん研究会がん研究所
今村 健志	愛媛大学大学院医学系研究科	土井 俊彦	国立がん研究センター東病院
井本 逸勢	愛知県がんセンター中央病院	中釜 斉	国立がん研究センター
上野 貴之	がん研究会有明病院	中島 秀明	横浜市立大学医学部
牛島 俊和	国立がん研究センター研究所	中西 真	東京大学医科学研究所
大木理恵子	国立がん研究センター研究所	永野 修	慶應義塾大学医学部先端医科学研究所
大澤 毅	東京大学先端科学技術研究センター	中村 清吾	昭和大学医学部
大島 正伸	金沢大学がん進展制御研究所	中村 卓郎	がん研究会がん研究所
大谷 直子	大阪市立大学大学院医学研究科	西川 博嘉	国立がん研究センター
大西 伸幸	慶應義塾大学医学部先端医科学研究所	西原 広史	慶應義塾大学医学部
大家 基嗣	慶應義塾大学医学部	西山 伸宏	東京工業大学科学技術創成研究院
岡本 勇	九州大学病院	島山 昌則	東京大学大学院医学系研究科
織田 克利	東京大学大学院医学系研究科	原 英二	大阪大学微生物病研究所
落谷 孝広	東京医科大学医学総合研究所	藤田 直也	がん研究会がん化学療法センター
片岡 圭亮	慶應義塾大学医学部	松尾恵太郎	愛知県がんセンター研究所
片山 量平	がん研究会がん化学療法センター	森下 大輔	京都大学大学院
金井 弥栄	慶應義塾大学医学部	吉田 稔	理化学研究所
北川 雄光	慶應義塾大学医学部	宮野 悟	東京医科歯科大学
北村 俊雄	東京大学医科学研究所先端医療研究センター	村上 善則	東京大学医科学研究所
清谷 一馬	がん研究会がんプレジジョン医療研究センター	本橋ほづみ	東北大学加齢医学研究所
鯉沼 代造	東京大学大学院医学系研究科	森 誠一	がん研究会がんプレジジョン医療研究センター
斉藤 典子	がん研究会がん研究所	八尾 良司	がん研究会がん研究所
坂元 亨宇	慶應義塾大学医学部	矢野 聖二	金沢大学がん進展制御研究所
佐藤 俊朗	慶應義塾大学医学部	山田 泰広	東京大学医科学研究所
茂松 直之	慶應義塾大学医学部	若林 雄一	千葉県がんセンター研究所
柴田 龍弘	東京大学医科学研究所	渡部 徹郎	東京医科歯科大学大学院
清水 孝恒	星薬科大学薬学部		

International Sessions 組織委員会(2021年度)

牛島 俊和	国立がん研究センター研究所/委員長	滝田 順子	京都大学大学院医学研究科
大島 正伸	金沢大学がん進展制御研究所	中島 貴子	聖マリアンナ医科大学
熊ノ郷 淳	大阪大学大学院医学系研究科	野田 哲生	がん研究会がん研究所
近藤 豊	名古屋大学大学院医学系研究科	広田 亨	がん研究会がん研究所

日本癌学会 禁煙宣言

- 1 たばこの健康への悪影響のさらなる解明、効果的な禁煙方法の開発、その他わが国のたばこ規制に資する研究を推進する。
- 2 会員は喫煙関連産業または喫煙関連産業からの出資金で運営される団体等からの研究助成を受けない。また、これらの資金提供を受けた研究については、日本癌学会の学術集会での発表および学会誌への投稿を認めない。
- 3 会員が所属する施設の敷地内全面禁煙化を推進し、社会的な範を示すと共に、喫煙する会員は自らの禁煙に努める。
- 4 あらゆる機会を捉えて、国民や患者にたばこの害を説き、禁煙を呼びかける。
- 5 日本癌学会学術総会、その他日本癌学会が主催する会合の会場施設は禁煙とする。
- 6 たばこの害に関する健康教育と未成年者の喫煙防止対策を推進する。
- 7 医療や健診等の場で全ての喫煙者への禁煙勧奨と禁煙希望者に対する治療・支援対策を推進する。
- 8 受動喫煙による非喫煙者の健康への悪影響を防止するために、レストランを含む不特定の人が入り出る場所や職場の全面禁煙化を推進する。
- 9 たばこの広告および自動販売機の規制、警告文書を強化する。
- 10 たばこを欧米先進国並に値上げし、増収、増税分の一部をたばこ規制の推進費に充てる。
- 11 未成年者の喫煙防止と禁煙支援に努め、非喫煙者には受動喫煙の害が及ばないように努める。

2016年2月1日改訂

※第2項は2017年1月からの施行とする

